



図4 ファンデーションをのせる両頬の三角ゾーン

目の下の三角ゾーンは肌の印象を左右する場所なので、ファンデーションやコンシーラーを丁寧に塗布して美しく仕上げる。



図5 水で濡らして使用できる「3Dスポンジ」

大きめのスポンジは塗りムラが起こりにくく、肌にファンデーションを叩き込みやすい。

- ④フェイスパウダーを大きめのフェイスブラシに取り、一度手首などで余分な粉を落としてから顔全体につける。その後、Tゾーンや小鼻周りなどの皮脂が出やすい部分にパフで少量のフェイスパウダーを足す。

パウダーファンデーション

- ①パウダーファンデーションを使用する前に、クマや赤みなどが気になる部分をコンシーラーでカバーする。
- ②パウダーファンデーションをファンデーション用ブラシまたはパフに取り、一度手の甲でファンデーションをブラシやパフになじませ、顔の中心から外側に向かって塗り広げる。
- ③もう一度パウダーファンデーションを取り、毛穴が目立ちやすい三角ゾーンに塗布する。その際はくれぐれも擦らないよう気をつけながらやさしく円を描くようにブラシやパフを動かし、しっかり毛穴の中にパウダーファンデーションを入れ込む。
- ④ブラシやパフに余ったパウダーファンデーションをTゾーンやフェイスライン、目の周りに塗る。
- ⑤油分の少ないパウダーファンデーションの場合、フェイスパウダーの使用は必須ではないが、皮脂崩れが気になる部分にはフェイスパウダーを重ねる。



図6 オレンジを使ったファンデーションの塗り方による毛穴目立ちの比較

スポンジを横に滑らせた塗り方(A)ではファンデーションが毛穴まで入り込まず、スポンジを叩き込む塗り方(B)は毛穴の中までファンデーションが行き届いている。

毛穴を目立たせてしまう、間違ったメイクアップ方法

先述では毛穴を目立たせないメイクアップの基本的な手順を解説したが、反対に毛穴を目立たせてしまうメイクアップについて説明する。

ファンデーションによる「暗い毛穴目立ち」

本来ならば、ファンデーションは顔色のトーンを均一にして肌を美しく見せてくれるメイクアップ化粧品であるが、毛穴が目立つ部分に対しては塗り方ひとつで逆効果となってしまう。

図6は柑橘類の果物の皮を毛穴に見立て、左右異なる方法でファンデーションを塗布した様子を撮影した。スポンジを横に滑らせた状態(図6A)と、叩き込んだ状態(図6B)を比較すると、スポンジを横に滑らせたほうは毛穴が目立つことがわかる。これは毛穴周りがファンデーション